※令和４年度以降入学生用

学校番号	１２０５

令和５年度　学アート科

教科	学アート	科目	(学)理美容技能基礎	単位数	１単位	年次	１・２年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

学外の専門学校で、短期集中講座として設定しています。理容・美容職を進路希望の一つとして考えている人はもちろん、様々な体験を通じて自分の適性を考えていきたい人はぜひ受講してみてください。

２　学習の到達目標

（１）理容・美容に関わる基本的な知識と技術を身に付けるようにする。
（２）他者とコミュニケーションをとりながら、試行錯誤を繰り返し、自ら考えたヘアスタイル等を表現する力を養う。
（３）理容・美容の知識・技能を高めようと努力し、自身や他者の日常生活を豊かにしようとする態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・理美容の仕事についての知識を身につけている。 ・理美容における、基本的な技術を身につけている。	・実習において、他者とコミュニケーションをとり、行動をすることができる。 ・実習において、自ら考えたヘアスタイル等を表現することができる。	・互いにアドバイス等を行い、技術を向上しようと努めている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
後期	理容・美容の基礎的知識と技能	・理美容の仕事と資格 ・サロンでの1日 ・理美容のカット・理論 ・シャンプー, シェイビング ・ワインデイング, フェイシャル ・エクステンション編み込み ・学科授業 ・ヘアカラー ・理美容サロン体験実習 ・コームアウト, エステ	a: 理美容の仕事についての知識や、基本的な技術を身につけているか。 b: 実習において、自ら考えたヘアスタイル等を表現することができているか。 c: 互いにアドバイス等を行い、技術を向上しようと努めているか。	正しい手順、方法で実習を行っているかどうかを評価する。	表現力を総合的に評価する。	受講態度を総合的に評価する。

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度